

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) オカネツ工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒704-8161 岡山市東区九幡1119-1	
本票作成	部署名：人事勤労部				
主たる業種	分類コード	24	業種名：金属製品製造業		
事業の概要	小型農業機械及び動力伝達装置製造 金属熱処理加工及び各種歯車加工				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社／本社工場		岡山市東区九幡1119-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 23 年度)	(平成 26 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	6,202 t CO <sub>2</sub>	4,884 t CO <sub>2</sub>	6,016 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26 )年度排出量
	①	本社／本社工場	4,884 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 24 年度 ～ 平成 26 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	18.2 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 加工高	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 26 )年度	目標年度
		488.5 t CO <sub>2</sub> /(億円)	399.7 t CO <sub>2</sub> /(億円)	437.8 t CO <sub>2</sub> /(億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成25年度末をもって金属熱処理の専門工場である今保工場が閉鎖し、予想通り目標年度の排出量は達成できた。本社／本社工場については照明のLEDへの交換やスイッチの手元化、コンプレッサー対策、工場内設備へのインバーター設置やデマンド監視装置との連動等既に相当の事をこの数年間でやってきており、費用対効果の点でも更にできる事は少ないと思われる。今後は外部専門家による支援等も視野に入れて活動を行わねばならない。

**【推進体制】**

省エネ委員会（事務所、工場/倉庫の2部会構成で、全部門から最低1名以上を選出）を安全衛生委員会と合わせて月次で定期開催。部門相互のパトロールや各部会若しくは部門からの要請に基づく施策の実施により継続的改善を行う。全社的課題や大きな費用の掛かる事案については、事務局が役員に発議し、都度検討を行う。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社/本社工場	(H26年度実施分) ①デマンドモニターによるピーク管理（一部空調の自動連動+手動OFF） ②生産（金属熱処理炉稼働状況）情報共有によるピーク調整 ③コンプレッサー等圧縮空気配管系統の漏れ防止徹底 ④不要照明の消灯徹底 ⑤既設エアコン及び加工機械へのインバーター取付 ⑥工場内照明LED化推進 ⑦不快指数基準の導入と風量自動設定の遵守 ⑧旧型エアコン機器の買い替え推進 (今後の取組) ・一昨年以降大きな変化なし。原則的にはこれまでの施策の継続だが手詰り感強い。熱処理及び機械等増設に伴う変化が懸念される。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--